

**・実践事例5 第2学年 「近代国家の歩みと国際社会」 -新しい価値観のもとで- (8/8)**

**本時の目標**

日本が開国した判断の是非について、討論の内容を踏まえながら、自分の考えを再構築し、適切に表現することができる。

**学習問題の設定**

開国による政治的・経済的・文化的な影響や明治維新の様々な改革について理解させた。開国の是非について意思決定を迫り、開国が人々の生活に与えたプラスとマイナスの両面について整理させ、開国が人々の生活に与えた影響を根拠にししながら自分の考えを主張させた。

**本時の様子**

学習活動	教師の指導・支援
○前時までの内容を振り返る。 ○本時のめあてをつくる。 〈学級全体〉	○キーワードを板書することで、これまでの学習内容を具体的に思い出させ、本時のめあてを確認させた。
<p><b>めあて 他の人の意見を参考にしながら、日本の開国について考えを深めよう</b></p>	
<p><b>社会的な問題【解決すべき課題】</b> 江戸幕府が鎖国をやめて開国したこと。</p>	
<p><b>学習問題Ⅱ 日本は開国して良かったのだろうか</b></p>	
<p>○学習問題Ⅱに対する自分の考えを確認する。</p> <p>○学習問題Ⅱに対して、開国派と鎖国派のそれぞれの立場になってグループで討論を行う。 〈グループ〉</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈討論の流れ〉</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 発表タイム (班で自分の意見を発表する。)</li> <li>② 作戦タイム (班員の意見に対する質問・意見を考える。)</li> <li>③ 反撃タイム (考えた質問・意見を発表する。)</li> </ol> </div>	<p>○自分がどのような立場かを再度確認させ、自分と同じ立場の意見については、自分が書いていない新しい情報のメモを取り、自分の意見を補うために必要な情報かを選択させた。自分と異なる立場の意見については、メモを取り、反論できるものか、納得いくものかを判断させた。</p> <p>○討論の意見を整理させることで、意思決定の判断材料にする意識を高めさせ、説得力が増すように、根拠を明らかにしながら自分の考えを表現するように促した。</p> <p>[社会的事象について説明したり自分の考えを論述したりする際に、根拠と理由を述べさせること]</p> <p style="text-align: right;"><b>【改善のポイント3】</b></p>

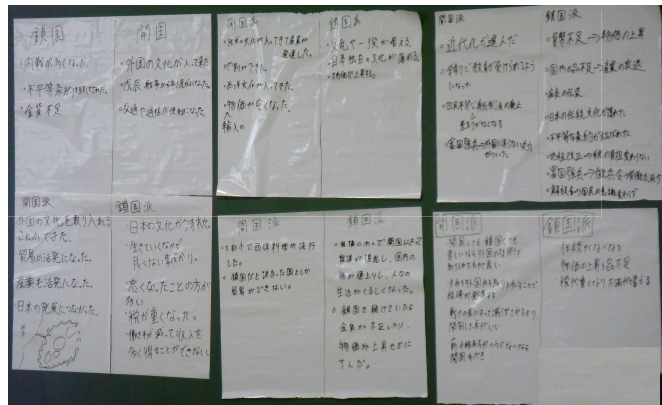
- グループでの討論を参考に、自分の意見をまとめ、発表する。

〈学級全体〉

※開国後の影響について、経済、生活、文化の3つの視点でよくなった点、悪くなった点を整理させたものを根拠に、論題について自分の立場を理由をつけて主張させた。

※友達の見解を聞く際は、「何を根拠としているのか、何を基に理由付けされているのか」を確認しながら聞くように伝えた。

- 学習問題Ⅱについて、これまでの自分の意見と討論で出た意見を参考にし、自分の考えを深めさせながら、ワークシートに記述させた。



[社会的事象について説明したり自分の考えを論述したりする際に、根拠と理由を述べさせること]

**【改善のポイント3】**

※意見を出し合って共有した情報から必要なものを選択させ、それらを根拠や理由として示し自分の意見をまとめるように促した。

- 発表した主張に対して、「どう思う？」と他の生徒につなげて対話を促し、お互いの考えを共有させた。

- 討論で出た意見を踏まえ、再度開国派か鎖国派かの意思決定を行い、根拠を明らかにしながら、自分の考えをワークシートに記述する。



〈個人〉

- 資料から判断したことや、グループで話し合ったことを参考に、「日本は、開国して良かったのだろうか」という問いについて、最終的な自分の主張をまとめさせ、ワークシートに記述させた。

[社会的事象について説明したり自分の考えを論述したりする際に、根拠と理由を述べさせること]

**【改善のポイント3】**

※論題について、討論で出た意見を選択させ、それを根拠に最終的な意見としてまとめさせた。

- 今日の学習を振り返り、次時の学習について確認する。

〈学級全体〉

- 次時は、近代国家への歩みについて学習することを確認させた。